

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則と大会要項によって運営する。スタートについては、競技規定 TR16により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
2. トラック競技の予選で、決勝に進出する資格を得る競技者は着順またはタイムによって決定する。同タイムによって決勝進出競技者が、規定人数を越える場合は抽選で決定する。(タイムは1/1000秒差までの着差を確認する)
また、長距離種目は着順どりとし男女とも800mは12名、1500mは15名、共通男子3000mは18名が決勝に進出する資格を得るものとする。
3. 本競技場は全天候型なので、競技に使用するスパイクピンは全天候型のものとし、9mm以下のものを使用すること。(走高跳は12mm以下とする。)
4. ハードルの高さおよびインターバル、砲丸の重さは次のとおりとする。

男子110mH	高さ	91.4cm	インターバル	9.14m
女子100mH	高さ	76.2cm	インターバル	8.00m
男子砲丸投(5.0kg)			男子四種競技砲丸投(4.0kg)	
女子砲丸投(2.721kg)			女子四種競技砲丸投(2.721kg)	
5. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。走幅跳は、上位12名が決勝に進出する。
共通男子走高跳 1m45-50-55-60-65-70-73…以後3cmずつ(練習は1m45と55)
共通男子四種競技 1m25-30-35-40-45-50-55-58…以後3cmずつ(練習は1m25と35)
共通女子走高跳 1m25-30-35-40-45-48…以後3cmずつ(練習は1m25・35)
共通女子四種競技 1m15-20-25-30-35-38…以後3cmずつ(練習は1m15と25)
共通男子棒高跳 2m40-60-80-3m00-20-40…以後10cmずつ
※男女の走幅跳については、予選・決勝を行う関係から、予選通過記録を次のように定める。
(男子：6m55 ・ 女子：5m45)
6. 四種競技の砲丸投の試技は3回までとする。
7. 競技者は、学校名のアスリートビブスを胸背部に正しく着けること。(走高跳・走幅跳・棒高跳の選手は、胸部・背部のいずれか一方に着ければよい。)アスリートビブスのない競技者は出場できない。
トラック競技の腰ナンバー標識は、招集所で受け取りパンツの右側やや後方に着ける。競技終了後はゴール地点で役員に返却すること。
共通男子3000m(胸背部)、男女1500mでは(胸部)別に配布する数字のアスリートビブスを使用する。競技終了後は、ゴール地点で役員に返却すること。
8. 競技のレーン順・試技順は、プログラムに記載されている順とする。決勝のレーン順は、番組編成の際本部で行う。
9. 招集について
 - ① 招集は、招集所で行う。(招集所は100mスタート側後方ゲートの外に設置する)
 - ② 招集については、プログラムに記載されている招集開始時刻と招集完了時刻に従ってである。
 - ③ フィールド競技においては、走高跳・砲丸投は、30分前、走幅跳は40分前、棒高跳は50分前を招集完了時刻とする。ただし、走幅跳決勝は、招集完了時刻を30分前とする。
 - ④ 選手は招集完了時刻10分前までに招集所に集合すること。10分前より点呼を開始する。リレーのオーダー用紙提出は予選・決勝ともに、招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出する。提出が遅れた場合は失格となる。なお、エントリーした6名以外の選手が走る場合にも、プログラムを参照の上、該当選手が記載されている種目のページなど必要事項を記入し競技者係に提出する。
オーダー用紙は招集所に用意する。
 - ⑤ 代理人による招集の確認は原則として認めない。ただし、2種目を同時に出場する競技者はあらかじめその旨を本人または代理人が該当の招集開始時刻までに、所定の用紙(同時二種目出場届)に記入し競技者係に提出すること。なお、用紙は招集所に用意する。

- ⑥ 招集を受けていない競技者は棄権とみなして処理する。招集時刻に遅れた競技者は出場できない。また、招集所には、点呼を受ける競技者以外入らないこと。
- ⑦ 四種競技出場者も同様に行う。なお四種競技の場合、フィールド種目は競技開始30分前、トラック競技は競技開始20分前には完了すること。
- ⑧ 競技を棄権する場合、棄権届け（陸協指定の用紙）を競技者係に提出すること。用紙は招集所および本部に用意する。

10 競技用シューズの扱いについて

- ① 今大会における競技用シューズに関する規定は右図のように扱う。

区分	種 目	厚さ
T	800m未満（ハードル）	20mm以内
T	800m以上	25mm以内
F	跳躍・投てき	20mm以内

- ② **ただし、今大会においては、投てき競技のみ、競技用シューズの扱いをTR5.5規定の適用除外措置とする。（投てきの競技者については、20mm以上の厚さの靴も可となります。）**
- ③ 招集時にシューズの検査を行う。

- 11. 規定外の商標を競技場内に持ち込むことはできない。違反している場合は「商標隠テープ」を貼り処置する。
- 12. 100m、ハードル、400m、800mなどのトラック競技のゴール後は、ゴール右側のゲートから退場すること。その他のトラック競技は、ゴール後、スタート位置までもどり、荷物を持って第4コーナー出入口、またはゴール右側出口のうち最寄りの出口より退場すること。その際正面スタンド下通路は通らないこと。また、スタンドから降りての応援・観戦はしないこと。
- 13. 記録の発表は、正面玄関横の掲示板にて掲示・発表する。
- 14. 表彰は、各種目の8位まで（リレーも8位まで）の入賞者に表彰状を授与するので、競技終了後すみやかに正面ロビーに集合すること。（表彰や競技の進行から、代理を立てて表彰を行うこともありうる。）
- 15. 本大会は、第48回全日本中学校陸上競技選手権大会の標準記録突破指定大会とする。
- 16. 本大会は、第55回中国中学校陸上競技選手権大会の選手選考会とする。男女各種目とも上位3位までの者が第55回中国中学校陸上競技選手権大会広島県代表となる。男女のリレーについては本大会での優勝校のみが男女の広島県代表として第55回中国中学校選手権に出場する。

第48回 広島県中学校陸上競技選手権大会 連絡事項

1 学校受付及び役員受付

- (1) 学校受付は、7:40からとし、監督は必ず学校受付にて検温を受けてプログラムを受け取ること。また、新型コロナウイルス感染防止対策に関わる書類等も受付に提出をお願いします。加えて、競技役員の方も検温を受け、競技役員の受付をすませること。(監督と重なる方は1回で)学校受付及び役員受付は、正面スタンド入り口のロビー前で行います。

※競技場の開門は両日とも、7:00とする。場所取りで、正面スタンドやサイド、バックスタンド(芝生)に入る際には、まず競技場上面玄関付近の検温・手指消毒コーナーにならび、検温と手指消毒を受けて、競技役員以外の引率者は、ここで「引率者」のネームプレートを受け取り、スタンドへ入場すること。

※なお、競技役員の方は、陸協役員の審判プレートを首におかけください。また受付時でも「引率者用」のネームプレートを配布しますので、スタンドへ出入りする際には、首にかけておいてください。(陸協のネームプレートか、「引率者」のネームプレートのどちらかがない方はスタンドに入れません)

※帰られる際には、受付に必ず返却願います。

- (2) 役員の打ち合わせ会を両日とも8:25より走幅跳ピット前において行うので役員は時間厳守で集合すること。
- (3) 開会式・閉会式は行いません。各種目の表彰は、各種目の決勝終了後、時間を見て行う。

2 競技役員について

- (1) 競技役員については、別紙競技役員一覧表により運営しますが、欠席等により役員が不足するようなことがあれば引率の先生に競技役員をお願いすることもありますので、服装等については必ず留意しておいてください。
- (2) 競技役員は必ず役員受付を済ませること。なお、競技役員の服装は、男性は白の半袖カッターシャツかポロシャツにグレーのズボン、女性は白のブラウスカポロシャツにグレーか紺の服装をお願いします。ジャージは必ず避けること。
- (3) 競技役員は、その任務中は、任務に徹し、選手に対する助言、助力を行わないようにして、公正中立な立場で審判業務にあたること。

3 競技場使用について

- (1) 練習場は、競技場横の芝生広場または土のグラウンド広場を使用すること。
(砲丸投げなどは使用不可、芝生上にも投げないこと)
芝生広場や土のグラウンド広場では、器具を用いない形でのウォーミングアップを行うものとする。
練習用具については、学校からの持ち込みをしないこと。
- (2) 競技開始前のメイン競技場内での練習について
※1日目=7:30~9:00まで、2日目=7:20~8:45まで
 - ・ホームストレート側8レーン → 男子ハードル練習レーン(8レーン:9.14m間隔で高さ91.4cm)
 - ・ホームストレート側7レーン → 女子ハードル練習レーン(7レーン:8.0m間隔で高さ76.2cm)
※状況によっては、ハードルレーンを増やすこともある。係員の指示に従うこと。
 - ・ホームストレート側3~6レーン → 短距離スタプロ練習レーン
 - ・1~2レーン → 中長距離などの周回レーン
 - ・3~5レーン → 高速周回レーン(200mや400mなどの曲走路を利用した高速の流しなど)
バトン練習なども
 - ・ゆっくりとしたジョグなどは、トラック周辺の芝生エリアで行ってください。※砂場での走幅跳などの助走・跳躍練習はできません。
※砲丸投の練習もできません。
- (2) 短距離種目については、ゴール後はコースに沿ってカーブするよう事前に指導をお願いします。
(選手同士の接触事故防止のため)

- (3) 競技終了後は、最寄りのゲートから退場すること。尚、正面スタンド前は通らないこと。
- (4) 選手は、スタンドから降りての応援、観戦はしないこと。

4 商標について (大まかに言うと名刺サイズ以上の大きさの商標は隠すことになります。)

(HP上の別資料も参照)

- (1) 競技場内には以下の規定を満たしていない商標名の付いた衣類・バッグは持ち込みできない。特にバッグについては注意すること。(他のカバン、袋を準備するのが望ましい。)どうしても持ち込まなければならない場合や競技場内で発覚した場合は「商標隠テープ」を貼り処置をする。その処置によって持ち物が破損した場合、主催者は責任を負わない。

①上半身の衣類…製造会社のロゴ：大きさは四角形の面積30cm²以内、文字は縦4cm以内、ロゴ全体で縦5cm以内とする。ただし、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケットの製造会社名/ロゴ面積は40cm²以内とする。

②下半身の衣類…製造会社のロゴ：大きさは四角形の面積20cm²以内の長方形、文字は縦4cm以内のものを1ヶ所とする。

③バッグ…製造会社のロゴは、2ヶ所に取り付けることができる。それぞれの面積は25cm²以内のものとする。

- (2) 競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。

5 その他

- (1) 全国大会への出場が決まった学校は参加申込書等を本部にて選手に渡します。
全中の詳しい情報につきましては全中陸上競技茨城大会公式HPで確認して下さい。
全国大会申し込みは7月 日 () [未定]までに提出してください。(公印が必要です)
※全中出場が決定した学校に別途、お伝えします。